

はじめに

町田市では、「町田市スポーツ推進計画19-28」において、市民の身近なスポーツをする場の拡充のため、「大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備する」としています。また、町田市5カ年計画22-26の重点事業「スポーツをする場の環境整備事業」において、境川金森調節池の上部（旧西田スポーツ広場）に運動施設を備えた公園を整備するとしています。さらに、2022年1月には「境川金森調節池の上部利用に関する方針」を策定しました。

境川金森調節池上部(旧西田スポーツ広場)における公園整備基本計画は、これらの上位計画等を踏まえた公園整備の基本的な考え方を示すものです。

位置図

所在地：金森六丁目1409番1外
面積：約1.5ha



経緯

時期	内容
2021年10月	境川金森調節池の上部利用に向けた説明会開催
2021年10月～11月	境川金森調節池の上部利用に関する意見募集
2022年1月	境川金森調節池の上部利用に関する方針決定
2022年10月～11月	地元町内会・自治会との協議開催 (西田町内会、旧西田スポーツ広場管理運営委員会、西田団地自治会、金森三丁目町内会、金森互助会)
2022年12月	境川金森調節池上部における公園整備基本計画説明会開催
2023年2月	地元町内会・自治会との協議開催
2023年3月	境川金森調節池上部における公園整備基本計画説明会開催

計画の位置付け

スポーツ推進計画19-28



基本目標 03 スポーツ環境の充実

市民が生活に身近な場所でスポーツに親むことができるよう、「する」と「みる」視点からスポーツ環境の充実に取り組んでいきます。「する」「みる」視点で市民の行動の変化を生み出すとともに、行動を継続したくなる環境の整備にも取り組めます。

基本施策(1)「する」スポーツ環境の充実

スポーツを実施できていない市民に対して、生活等の状況に応じて行動や意識を変える取組を行うとともに、公園等の公共施設を活用したり、やスポーツ広場等をより一層市民の誰もが利用しやすい環境として整備していくことで、地域のスポーツ環境を充実していきます。また、学校等と連携・協働し、子どもが安全かつ安心してスポーツを行うことができる場や機会を拡充していきます。

スポーツ関係団体のほか市内の学校等、民間事業者、町内会・自治会等との連携を拡大し、市民のスポーツ実施にむけ、多様なアプローチで取り組んでいきます。

推進施策

- 市民の身近なスポーツをする場の拡充
※子どもにとっての放課後の「学校」や身近な公園など、スポーツ施設に分類されない「場」を含む。

主な事業	取組内容
「まちとも」と連携した子どものスポーツの場の充実・拡大	「まちとも」と連携し、子どもたちが最も身近な放課後の学校で安心・安全にスポーツを楽しめるようにします。
大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるようにします。
スポーツ広場・学校跡地の位置づけの明確化	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。

大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備する

町田市5カ年計画22-26



重点事業プラン

重点事業3 スポーツをする場の環境整備 継続

事業概要

- 市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、学校跡地や予定地、調整池等をスポーツ施設を併設した公園等として整備し、利用しやすい、身近なスポーツ環境を充実していきます。
- 「小山上沼調整池」、「後田グラウンド」及び「境川金森調節池」を運動施設がある公園として整備するとともに、「旧忠生第六小学校」跡地に、給食センターの整備に合わせて体育館を整備します。

年度計画(主な活動)	2022	2023	2024	2025	2026	
●スポーツ施設の整備	1施設	→	1施設	1施設	1施設	
目標指標	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
①「子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった」と答えた市民の割合	63.5% (2020年度)	53.9%	49.1%	44.3%	39.5%	34.7%
事業費概算	1,336百万円		所管部		文化スポーツ振興部/都市づくり部	
事業を支える団体等	指定管理者/スポーツ団体/町内会・自治会					

市民誰もがスポーツに親しめる環境を創出するため、境川金森調節池の上部(旧西田スポーツ広場)に運動施設を備えた公園を整備する

2022年1月
境川金森調節池の上部利用に関する方針決定



基本計画のテーマ
スポーツを楽しみ、地域の憩いの場となる公園

計画の方針

- A. 市民がスポーツを楽しむ場としての整備**
 - ・複数種目の利用が可能な有料のグラウンドを整備する。
 - ・プレイする、スポーツを観戦するなど市民がスポーツに親しめる環境を整備する。
 - ・グラウンド以外でもジョギングやウォーキングなどの運動を気軽に楽しむことができる環境を整備する。
- B. 地域のコミュニティの拠点、レクリエーションの場としての整備**
 - ・地域のお祭りなど地域住民のレクリエーション、コミュニティの拠点として利用しやすい環境を整備する。
 - ・子どもたちが遊べる遊具やボール遊びができる環境を整備する。
 - ・散歩やピクニックなどに出かけたくなる居心地の良い空間を創出する。
- C. 公共施設としての管理運営の充実**

これまで地域住民により維持管理していた広場から、まちだ施設案内予約システムを導入した有料のグラウンドとして、また都市公園として市民が安全に、安心して利用できる公共施設として管理運営を行っていく。

ゾーニング

A. 市民がスポーツを楽しむ場

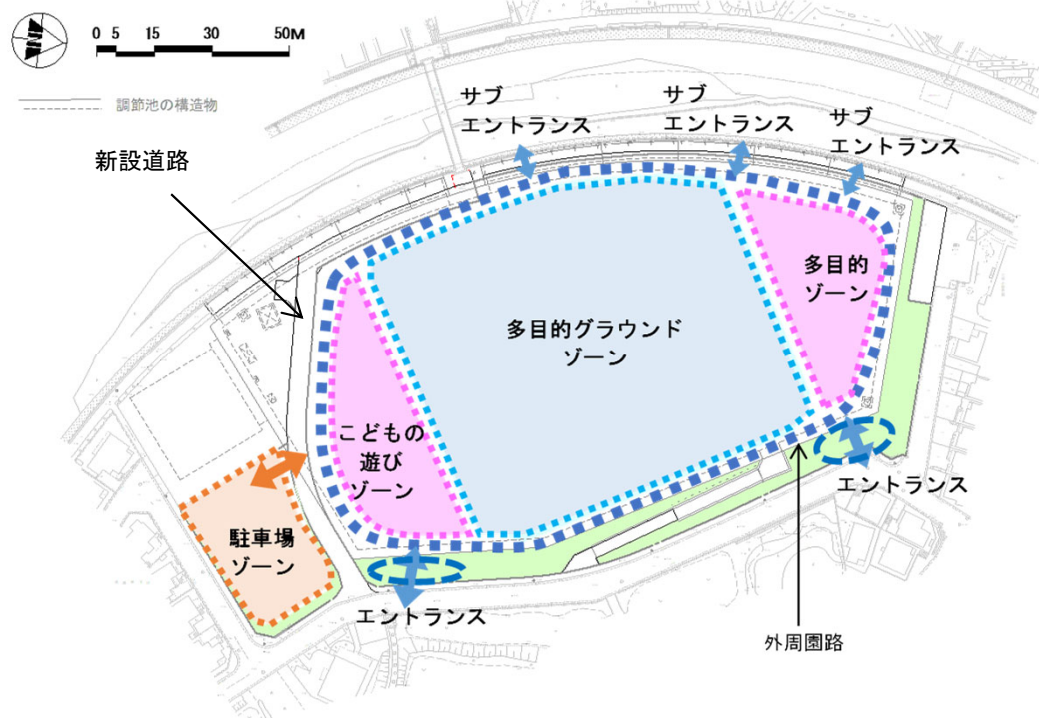
多目的グラウンドゾーン
・有料施設として整備されたグラウンド

B. 地域のコミュニティの拠点
レクリエーションの場

こどもの遊びゾーン
・遊具のある広場、ボール遊びができる広場

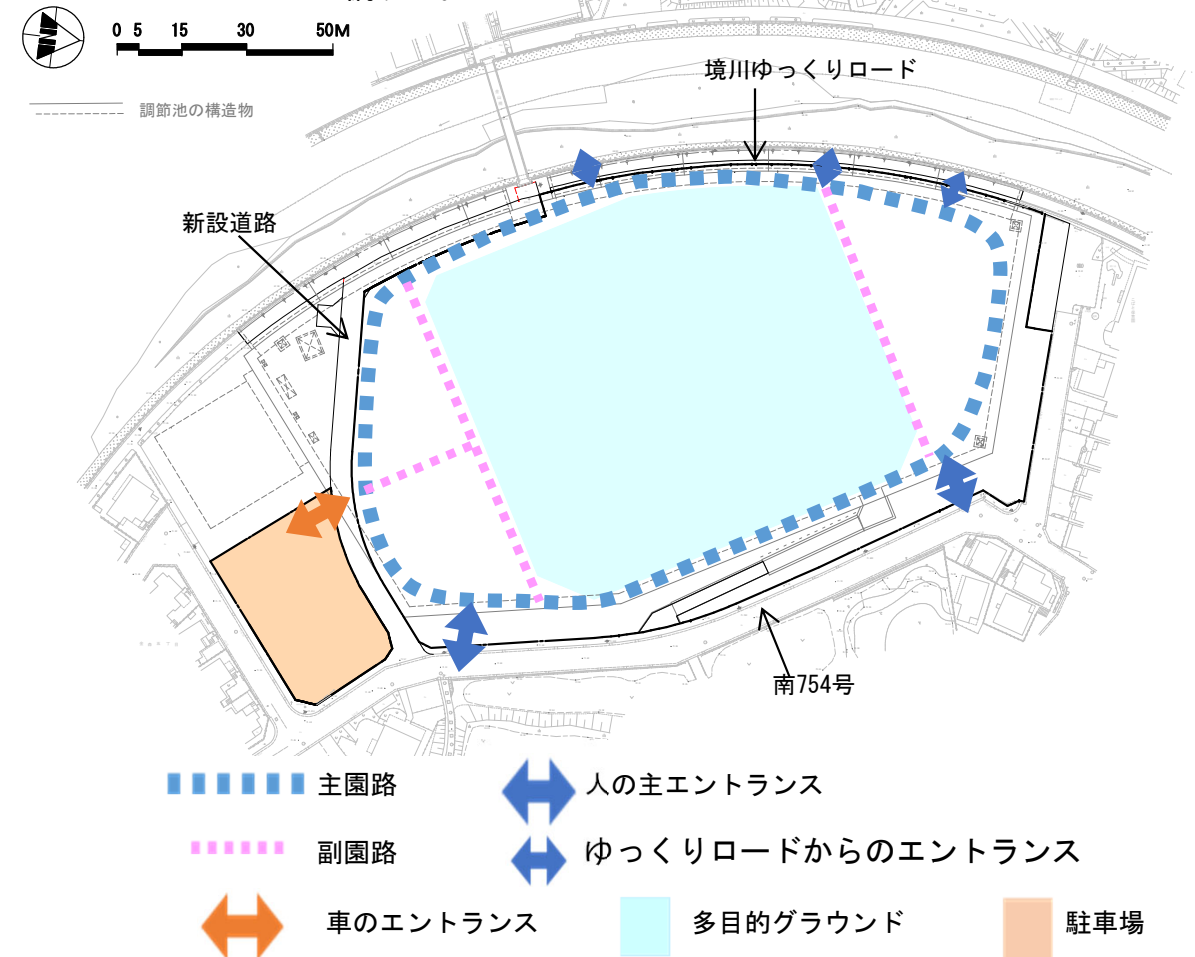
多目的ゾーン
・ピクニックなどで利用できる広場

新設道路の南側に駐車場、多目的ゾーンを北側、こどもの遊びゾーンを南側に配置

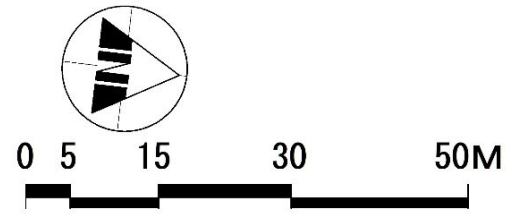


動線計画

- ① エントランス
 - ・エントランスは、南754号沿いと境川沿いのゆっくりロードに面する箇所に設ける。
- ② 主園路
 - ・園路は、エントランスから各広場をつなぎ、外周を一周できるように整備する。
- ③ 駐車場
 - ・駐車場は、生活動線である南754号が公園利用の車で渋滞しないよう整備する。



基本計画図 施設のイメージ



ピンクの線は調節池の
構造物を示しています。
地盤の高さを示しています。

水飲み場イメージ



足洗い場イメージ



サークルベンチイメージ



パーゴライメージ



便所・倉庫イメージ



幼児、児童用遊具を設置

遊具イメージ



ダストの広場イメージ



入口階段イメージ



健康遊具を設置

芝生舗装イメージ



健康遊具配置イメージ



※多目的グラウンド内は、少年軟式野球、少年サッカーを想定したサイズです。

整備イメージ

